**令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

日時	令和6年7月19日(金) 14時00分～16時30分		
場所	宜野湾市役所 2階 庁議室		
議事骨子	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 諮問 5. 報告事項 (1) 第四次宜野湾市総合計画後期基本計画評価・検証報告書について (2) 宜野湾市人口ビジョン2024について 6. 議事 第五次宜野湾市総合計画基本構想(素案)について 7. 事務連絡 8. 閉会		
会議資料	資料1：令和5年度第2回振興計画審議会における意見の概要と対応について 資料2：第四次宜野湾市総合計画後期基本計画評価・検証報告書における令和5年度第2回宜野湾市振興計画審議会からの主な修正点について(新旧対照表) 資料3：宜野湾市人口ビジョン2024 資料4：第五次宜野湾市総合計画基本構想(案) 参考資料1：第四次宜野湾市総合計画基本構想との相違点 参考資料2：令和5年度第2回宜野湾市振興計画審議会議事要旨 参考資料3：宜野湾市振興計画審議会委員名簿 参考資料4：宜野湾市振興計画審議会規則(昭和55年宜野湾市規則第17号)新旧対照表 冊子：第四次宜野湾市総合計画後期基本計画評価・検証報告書		
委員出席者 (敬称略)	所属	氏名	
	出席	琉球大学国際地域創造学部 教授(経済学)	瀬口 浩一
	出席	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授	岩田 直子
	出席	琉球大学 グローバル教育支援機構 保健管理部門教授	崎間 敦
	-	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授	神谷 大介
	出席	宜野湾市商工会理事	吉田 英子
	-	宜野湾市観光振興協会会長	高里 健作
	出席	宜野湾市認可保育園長会会長	仲村 由香
	出席	宜野湾市自治会長会選任 大謝名区自治会長	眞志喜 初枝
	出席	宜野湾市社会福祉協議会事務局長	仲村渠 満
	出席	一般公募枠	坂田 安佐子
	出席	宜野湾市教育委員	大川 実
	出席	特定医療法人 アガペ会 理事長	涌波 淳子
	出席	アイパブリッシング株式会社 代表取締役	福島 健一郎
	出席	沖縄振興開発金融公庫	宮里 一弘
	出席	日本労働組合総連合会沖縄県連合会連合 沖縄中部地域協議会 議長	宇根 信明
出席	FM ぎのわん 代表取締役	山内 一郎	
-	うむやす法律会計事務所 弁護士	野崎 聖子	
出席	宜野湾市企画部長	坂場 純平	

**令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

事務局	【宜野湾市企画部企画政策課】 伊佐次長、小橋川主幹、玉元技幹、藤原主査、平良技査、平良主査 【日本工営都市空間】 内田、大城
------------	---

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 諮問
5. 報告事項

- (1) 第四次宜野湾市総合計画後期基本計画評価・検証報告書について・・・資料1、資料2、冊子
- (2) 宜野湾市人口ビジョン2024について・・・資料3

発言者	内容
委員	P33、年齢3区分別の将来人口推計について、75歳以上の推計値を教えてください。医療介護のニーズが高いのは75歳以上であるため、動向を把握したい。
事務局	確認し、次回会議で報告する。
委員	合計特殊出生率が2.10まで上昇する仮定でシミュレーションを行っているが、上昇に向けた具体的な戦略はあるか。
事務局	あくまでシミュレーションとして作成している。人口置換水準まで上昇した場合でも人口減少は避けられない状況である。このシミュレーション結果を踏まえて作成した地域ビジョンについては、次回以降の振興計画審議会で議論いただきたい。
委員	P33、年齢3区分別の将来人口推計について、15～64歳人口と0～14歳人口の減少の程度が異なるが、要因が分かれば教えてください。
事務局	推測となるが、宜野湾市の人口ピラミッドを見ると、45～50歳の世代が多いため、その世代の高齢化が進むことで、15～64歳人口が急激に減少しているのではないかと。詳細について確認し、次回会議で報告する。
会長	現在の自然動態や社会動態を踏まえたシミュレーションとなる。15～64歳人口の推計値は、転出増の影響を受けているのではないかと。
委員	独身が多いことが影響している可能性もあるのか。
会長	可能性はある。

6. 議事

- (1) 第五次宜野湾市総合計画基本構想（案）について・・・資料4、参考資料1

■P36～37：将来都市像について

発言者	内容
会長	主要議題である将来都市像について、まずは意見をいただきたい。
委員	市民アンケート調査結果のうち、P31、④特に力を入れて取り組むべき施策として上位に挙げた「子育て」「基地問題」「福祉」に関連するキーワードは盛り込むべきだと思う。 また、案①と案②の違いについて、「みんな」の有無であるが、「みんな」を盛り込んだ狙いを教えてください。

令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨

発言者	内容
事務局	案①は、市民アンケート調査等を踏まえて考えられるキーワードを盛り込んだものである。案②についても同様の考えであるが、より分かりやすい言葉としたものである。 「みんな」については、案②のポイントに記載の通り、現役世代、子ども、これから生まれる人達、来訪者といった「みんな」にとって魅力的なまちを目指す思いを表現したものである。
委員	案①は市が重点的に取り組むべき分野として考えられるキーワードをすべて盛り込んだ案、案②は端的に表現した案、案③は市民の関心が高い子育て分野に尖らせた案となる。 労働者や観光客など、市民以外の方の要素も加わる案②をベースに検討したい。
委員	サブタイトルであるため、「目指す」というキーワードは入れることが望ましい。
委員	案①のサブタイトルは、「～まち」で終わっており、メインの「ねたてのまち」と重複しているのが気になる。 また、キーワードとして「未来」とあるが、将来の目指すべき姿であるため、あえて「未来」を入れる必要はあるのか。 宜野湾市の課題として、協働の分野を整理しているので、「みんな」のキーワードはよいと思う。
委員	「未来」は、将来への希望などが連想でき、基地問題にも繋がるキーワードと考えている。
委員	将来都市像の使い道を知りたい。市民が目にするのであれば、案②は目指す姿が想像しやすいので良い。一点、案のポイントについて、「みんな」の説明には高齢者も加えるべき。
委員	キャッチフレーズとして、市長訪問や写真撮影時の背景等に使用される。現行計画の将来都市像の認知度は、約4割に留まっているため、新たな将来都市像は、さらに市民に認知されるものとしたい。
委員	施策につながるキーワードを用いると、説明も容易で市民の印象も強くなる。
委員	「未来」をうたうなら「地域」の視点も必要である。子育ても地域のまとまりがないとうまくいかないため、地域の自治会活動等にも力を入れるべき。
委員	「みんなが」ではなく、「みんなで」だと主体的でよい。
委員	「みんなと」はどうか。
委員	市民に浸透するためには、短いフレーズの方が覚えやすくよい。案②から「みんな」を省くのはどうか。
委員	さらに短くして、「健やかで心豊かな未来を目指して」はどうか。
委員	「みんなで」は学校のスローガンのようである。多様性が伝わるようなキーワードがよい。
委員	「ひとりひとり」はどうか。 また、私は県外出身であるが、県外との子育ての違いに驚いている。 「子育てしやすい」など子育ての要素は盛り込むべきである。宜野湾の海は非常にきれいで誇らしいが、マリンレジャー事業者はほとんど県外の出身である。地元の人が増えると良い。宜野湾で育った子供たちが自分のまちに誇りを持てるまちにしてほしい。
委員	案③は子育て分野に尖らせたことで意図が伝わりやすい。

令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨

発言者	内容
会長	様々な意見が出ているが、将来都市像はこの会議で決定する必要があるのか。
委員	方向性だけでも決められると良い。
委員	子育ての要素が伝わる案③が良い。通常、保育無償化の対象は3歳からであるが、名護市において、0～2歳まで対象を広げた結果、子育て世代の流入が増えている。待機児童の問題等は発生しているようだが、子どもがいるまちが将来につながると考える。
委員	「子どもが夢を持てるまち」はどうか。宜野湾市は、貧困の影響か夢を持っていない子供が多い気がする。
委員	ターゲットが重要ではないか。子どもに着目しすぎると、まち全体の将来都市像として極端すぎないか。みんなで子ども中心のまちを目指すことが伝わるキーワードはどうか。
会長	子どもが過ごしやすいまちは、みんなにとっても過ごしやすいまちと捉えることもできる。また、説明文で補足する考え方もある。
委員	「ねたてのまち」の意味が「物事の根源」であるため、市民全体に結び付くキーワードが良いのではないかと。
委員	市民アンケート調査結果を見ると、「子ども」は入れるべき。「子どももおとなも夢を持てるまち」はどうか。市民アンケート調査結果で目立ったキーワードである「基地」「子育て」「福祉」「交通」などにも結びつけることができる。
委員	「夢」より「未来」のほうが、希望を感じることができる。また、夢と違って確実に訪れるものであるため、良いキーワードである。基地問題などにも繋がる。
委員	「育む」は子育てを全面に押し出すことができる。「未来」は基地につながることもできる。子どもに重点を置きつつ、包括的な表現でまとめさせていただきたい。
会長	事務局案にある「健やかで心豊かに」の部分は理解いただいている。これまでの意見を踏まえると「子どもも大人も健やかで心豊かに未来を育む」はどうか。
委員	委員の意見を踏まえて複数、案を検討する。基本構想に係るパブリックコメントを8月に実施予定であるため、パブリックコメントの実施前に案を提示する。
会長	案の提示後、投票など何らかの方法で将来都市像を決定する。
委員	様々な意見があり、一つに固めることは難しいと思われる。そのため、事務局で将来都市像を決めてはどうか。事務局で決めた将来都市像の実現に向けて、関係者で一致団結して取り組めば良いのではないかと。
委員	皆様の思いをうけとめられる言葉を検討する。
会長	将来都市像は、事務局案を基本とすることでよいか。
委員一同	異議なし。
会長	ただし、不満等がある場合は多数決を検討する。

令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨

■その他の意見

発言者	内容
会長	将来都市像以外について、意見はあるか。
委員	P33、①協働・行財政の課題に「DXの推進」が示されているが、DXの推進は他分野にまたがる横断的な課題ではないか。
委員	意見の通り、DXの推進は横断的な課題であるが、総合計画は体系別にまとめる計画であるため、現行計画と同様、行財政分野に整理している。第三期総合戦略では横断的な目標として整理し、様々な分野にデジタルの活用を盛り込む予定である。
委員	P33、まちづくりの方向性について、仮に将来の人口が横ばいに推計する場合でも違和感のない記載となっており、人口シミュレーション結果とのつながりが見えない。
委員	総合計画は、市の政策集としてとりまとめるものである。人口シミュレーション結果を踏まえた施策については、第三期総合戦略に整理する予定であるため、次回以降の会議で意見をいただきたい。
委員	まちづくりの方向性の前提として、人口シミュレーションを行っているということに理解した。
委員	基本目標の施策順について、現行計画との違いは、子育て分野と健康・福祉分野の順を入れ替えたことである。
委員	貧困家庭における子育て支援について、基本目標2に追加してはどうか。また、若い親世代に対する教育も必要と感じる。
委員	各家庭の状況はあると思うが、子どもひとりひとりの成長を支えられる環境がつけられると良い。
会長	基本構想であるため、包括的な表現となる。
委員	駐留軍用地跡地については、骨太方針2024に「教育・医療・福祉が融合したこどもの貧困対策・Well-being拠点設置に向けた取組」が位置付けられている。ご意見も参考とし、基本目標2にWell-beingの観点を加える。
委員	P40、基本目標4について、西海岸のコンベンションエリアは、産業振興の上でポテンシャルの高い地域であるため、現行計画と同様「都市型オーシャンフロント」の記載があってもよいのではないか。
委員	前回の会議でいただいた、「西海岸地域のみならず市全体の取り組みとして考えてほしい」との意見を踏まえ、包括的な表現としている。西海岸地域については、基本計画で整理したい。
委員	P40、基本目標5について、近年の気候変動も踏まえ、環境保全の視点を追加してはどうか。
委員	サンゴの移植に参加したのだが、宜野湾の海は非常にきれい。「海を守る」など、自然環境の保全に関する記載を加えたい。
会長	現行計画よりも自然環境の記載が減っている。
委員	自然に関するキーワードがあると良い。
委員	追記内容を検討する。
委員	P34、①の記載で「市民の参画意識が高まっていない」とあるが、その根拠は何か。
事務局	昨年度実施した市民アンケート調査において、地域・自治会の活動や集まりに参加していない方が多かったこと等を踏まえて記載したものである。

**令和6年度第1回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

発言者	内容
委員	自治会加入率は低いかもしれないが、イベント等に参加する方は多く、全くの無関心ではないと思われる。そのため、表現は変えてもよいのではないか。
委員	現代は、情報過多になりすぎており、重要な情報を自ら収集する必要がある。今後は、いかに重要な情報を提供するかが重要となる。市の広報誌で情報を収集している方が想定よりも多いため、発信内容を工夫すると良いのでは。
委員	若い世代が気になる情報について、細かく記載してはどうか。
事務局	広報誌は全世帯に配布しているため、有効な情報発信手段と考える。一方、今回の結果は、年代が高い人からの回答が多かったことが影響している可能性もある。
委員	情報入手方法について、年代別にクロス集計ができれば方法も考えやすい。
委員	情報発信の方法はこれまでも課題に挙がっている。現在、公式ラインによる災害情報の発信等に取り組んでいるため、試しに使ってもらいたい。市内では、SNSを活用して情報発信している自治会もあるため、市で支援したい気持ちもある。

7. 事務連絡

発言者	内容
事務局	<p>基本構想は、本日の意見を踏まえて修正後、8月にパブリックコメントを予定している。次回の振興計画審議会では、パブリックコメントの意見を踏まえた基本構想について審議いただく予定。</p> <p>日時は、8/28（水）の13時または9/3（火）の10時のどちらかで調整中である。次回の振興計画審議会後、基本構想の答申を行い、10月の庁内調整を経て、12月の市議会で提案する予定である。</p> <p>前期基本計画と第三期総合戦略は今後議論する予定である。振興計画審議会は、計5回の開催を予定しているため協力をお願いします。</p>

8. 閉会